

ベトナム概要および4月の注目ニュース

とちぎベトナムサポートハブ

(運営：ONE-VALUE 株式会社)

2024年4月

I. はじめに

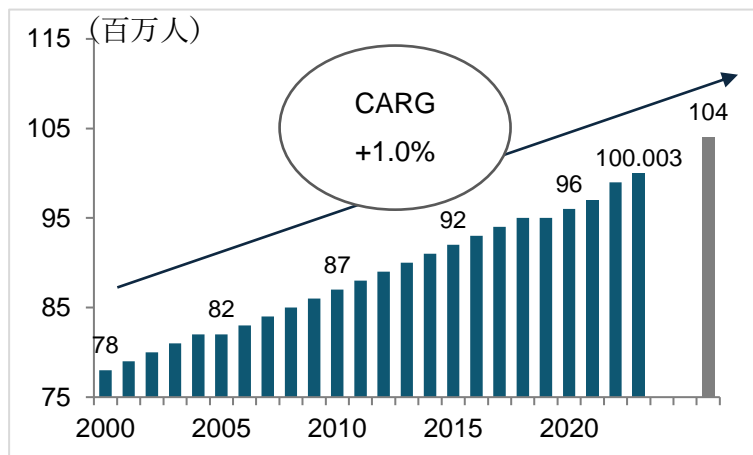
2024年4月24日、ベトナム・ハノイ市にとちぎベトナムサポートハブ（愛称：とちぎハブ）を開設いたしました。とちぎハブからは、毎月ベトナム現地の最新情報をお届けいたします。初回となる今回は、ベトナムに関する基本情報に加え、今月（4月）の注目ニュースをお伝えいたします。

II. 安定した経済成長を遂げている

ベトナムは安定した経済成長を続けている国のひとつとして知られています。ベトナム統計総局によると、2023年のGDP成長率は、5.05%となり、政府目標を下回ったものの、高い水準での成長を続けています。2024年のGDP成長率については、ベトナム政府は6.0~6.5%という高い目標を掲げています。経済成長に伴う所得向上を背景に、ベトナム国内市場向け投資が今後とも進展するものと考えられます。

III. 豊富で若い労働力

ベトナムは、2023年時点で人口約1億30万人となり、2040年頃には日本の人口を上回る見込みです。平均年齢は33.7歳（2022年）と若く、人口の45%は30歳以下です。また、15歳以上の識字率は94.5%と高く、OECDが実施する国際学力調査PISAで8位（アメリカ、イギリス、中国、香港より上位）となっています。



ベトナムの人口・GDPの推移と見通し

IV. 【4月注目ニュース】ベトナム「第8次国家電源開発計画（PDP8）」実施計画を承認

4月1日、チャン・ホン・ハー副首相は、2021年から2030年までの電力計画「ベトナム第8次国家電源開発計画（PDP8）」の実施計画を承認する決定に署名しました。

ベトナムは、2023年5月、2021年から2030年までを範囲とする「ベトナム第8次国家電源開発計画（PDP8）」を発効しており、今回はその実行計画が承認された形となります。

ベトナムは、2021年に開催された第26回気候変動枠組条約締約国会議（COP26）において、2050年にカーボンニュートラルを達成するという国家公約を宣言しています。その実現に向けて、PDP8においても、化石燃料から新エネルギー・再生可能エネルギーへの強力なエネルギー転換を推進し、環境汚染や温室効果ガス排出量を削減することで、ベトナムが2050年までにネットゼロ目標を達成することに貢献することを目指しています。¹

V. 【4月注目ニュース】フエ国会議長が辞任へ

4月26日、第13期党中央委員会は、ベトナム党中央委員会本部での会議において、ブオン・ディン・フエ国会議長（第15代国会議長、任期2021-2026年）の辞任を了承しました。党中央委員会と当局の報告によると、フエ氏は党員としての規律に違反し、党および国家の規定から、指導者としての責任をとったとされています。

ベトナムにおける国会議長はベトナム共産党における最高指導者（書記長、国家主席、首相、国会議長：「四柱」と呼ばれています）の一角をなす要職とされており、党の序列4位に当たります。

フエ氏は1957年生、ゲアン省出身、経済学博士。4期（X、XI、XII、XIII）中央委員会委員、政治局委員（XII、XIII）、第13、14、15回国会代議員を務めてきました。ハノイ財務会計大学（現財務アカデミー）に22年間勤務した後、副国家監査官、2006年に国家監査官に任命されました。

なお、ベトナムでは、今年3月にはヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席が辞任しています。

とちぎベトナムサポートハブ

<所在地> 14F, Viet A Building, No.09 Duy Tan, Cau Giay, Hanoi, Vietnam

HP: <https://onevalue.jp/>

¹ PDP8 実施計画概要は以下からもご参照いただけます https://vietbiz.jp/24-04-02_breakingnews-vn/